

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4090800196		
法人名	大和ケアサービス 株式会社		
事業所名	グループホーム 花うさぎ千早		
所在地	〒813-0044 福岡県福岡市東区千早4丁目13番27号 Tel 092-674-1800		
自己評価作成日	令和02年12月10日	評価結果確定日	令和03年02月09日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/40/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 北九州シーダブル協会		
所在地	福岡県北九州市小倉北区真鶴2丁目5番27号	Tel 093-582-0294	
訪問調査日	令和03年01月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

駅からは徒歩圏内と利便性のよい複合型の福祉施設で、目の前には公園があり、ダイニングの大きな窓からは、公園が一望できます。温暖な日などは散歩や食事会等の行事を行っています。ユニット間には交流スペースがあり入居者が自由に往来でき、催し物を行ったりしています。食事は入居者の希望や体調に合わせて職員が作り、栄養バランスも考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「花うさぎ千早」は、千早駅周辺の開発が進み利便性の良い場所に9年前に開設した、住宅型有料老人ホーム、デイサービス、小規模多機能、ヘルパーステーション、ケアプランセンター併設の、2ユニットのグループホームである。目の前には緑地公園が広がり、天気の良い日には散歩に出かけ、近隣の保育園児が走り回る姿や、地域の方が行き交う様子を眺めることは、利用者の大きな楽しみとなっている。入居年数の長い利用者が多く、平均介護度が3.6(2020年10月現在)であるが、月2回のペースでかかりつけ医の往診と緊急時の対応、施設内看護師、訪問看護師との密な連携で安心の医療体制が整い、看取りの支援にも取り組んでいる。コロナ禍で外出レクリエーションや地域交流は自粛中であるが、利用者の要望に応じてフロア内のカウンターに中華料理屋さんを開設し、模擬外食を楽しんでいただくなど、利用者の笑顔のためにアイデアを出し合い、1日1日を大切に利用者へ寄り添っているグループホーム「花うさぎ千早」である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
58	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:25,26,27)	○	1. ほぼ全ての利用者の	65	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,21)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらい				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらい				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
59	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:20,40)	○	1. 毎日ある	66	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,22)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
60	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:40)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
61	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:38,39)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
62	利用者は、日常的に戸外へ出かけている (参考項目:51)	○	1. ほぼ全ての利用者が	69	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
63	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:32,33)	○	1. ほぼ全ての利用者が	70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
64	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・家庭的な環境の中、可能な限り自立して暮らせるように支援いたします。・地域社会の一員として安心と尊厳のある生活を支援いたします。という理念を職員全員で実践しています。	基本理念「家庭的な環境の中、可能な限り自立して暮らせるように支援いたします」「地域社会の一員として安心と尊厳のある生活を支援いたします」を掲げ、職員間で共有し、理念の実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ下でこれまで定期的に行ってきた交流が難しくなっていますが、近くに公園があり地域の方のお姿を拝見することが出来ます。	新型コロナウイルス感染症対策のため、例年行ってきた法人合同の夏祭りやお茶会、地域の祭りや活動への参加、小学生の体験学習の受け入れ等、地域との交流は控えている状況である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナの影響で運営推進会議を例年通り行うことが出来ませんでした。電話やお手紙にて交流をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ下のため、運営推進会議が開催できず、郵送等にて活動・状況報告し、頂いたご意見をその後のサービス向上に役立てています。	新型コロナウイルス感染症対策のため、2ヶ月毎の運営推進会議は書面にて行っている。利用者の状況や取り組みについて報告を行い、委員からは、地域の行事や公民館活動についての情報提供や職員への励ましの言葉を受けている。出された意見や情報については検討し、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	コロナ化のため、郵送等にて活動・状況報告し、連携を取っています。	運営推進会議に、地域包括支援センターや行政職員の参加があったが、現在はコロナ禍のため、書面会議となっている。管理者は、行政担当窓口、空き状況や事故等を報告し、疑問点や困難事例を相談する等して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての施設内研修を行い安全を確保出来るよう、拘束しないケアを実践しています。	施設全体の研修で身体拘束について取り上げて学ぶ機会を設け、各部署に持ち帰り、運営会議の中で研修を行う等して周知を図っている。禁止行為となる具体的な事例を挙げて検討し、職員同士でチェック体制を整え、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の防止の研修を定期的に行い、高齢者の虐待について学び、職員の意識を高め、防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	6	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人についてのパンフレットを掲示しています。成年後見制度を利用していた入居者様がいたことがある為、職員には身近な制度となっています。	日常生活自立支援事業や成年後見制度について、研修で学ぶ機会を設け、職員一人ひとりが理解できるように取り組んでいる。また、制度に関する資料やパンフレットを用意して、必要時には利用者や家族に説明できる体制を整えている。現在、成年後見制度を活用している利用者があるので、後見人とのやり取りを通して制度の理解に努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は書面、口頭で説明を行い、家族や入居者様と話し合い、不安や疑問点のないようにわかりやすく説明しています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族やご入居者様の意見や問題点は、全職員で話しあい、対応しています。玄関の靴箱の上にはご意見箱を置き、直接言いにくいことでも意見、要望が聞けるようにしています。	職員は日々を共に過ごす中で、利用者の意見や要望を聴き取り、反映できるよう努めている。コロナ禍で家族の面会も制限されている為、これまで以上に意識して家族とのコミュニケーションに努め、意見や要望を聴き取り、ホーム運営や介護サービスに反映させている。また、「花うさぎ千早だより」を家族に送付し、ホームの取り組みや利用者の暮らしぶりを伝えている。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナの影響の為、月一回の運営会議での職員間の意見の交換を行えないので申し送りノートにて情報を共有しています。。また、管理者会議も行えないこともありますが、施設長とは密に連絡をとり、代表者へ職員の意見も反映させています。	新型コロナウイルス感染症対策として密を避ける為、毎月定期的に関催していた会議を中止して、申し送りノートで情報を共有している。管理者は職員の意見や要望、心配な事等の把握に努め、出された案件については管理者会議で取り上げ、代表に相談する等して、ホームの運営や業務改善に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の要望や提案を聞き、働きやすい環境整備に努めています。自己のスキルアップの為の研修に参加出来るように、勤務調整を行っています。(有給休暇も利用)		
13	9	○人権尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたって、性別・年齢等に制限を設けず幅広い人材を求めています。	職員休憩室やロッカーを整備し、休憩時間や休暇の確保、個々の事情に応じた勤務体制等、柔軟に配慮して、職員が働きやすい環境作りに取り組み、職員は定着している。外部の研修会に職員の経験や習熟度に合わせて参加を促し、資格取得のためのバックアップ体制を整え、職員が向上心を持って働くことのできる就労環境である。	
14	10	○人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	言葉使いや接し方については話し合い、入居者中の尊厳を大切に、日々のケアを行っています。研修等も定期的に行っています。入居者様のプライドや羞恥心に配慮した介護を実践しています。	利用者の人権を尊重する介護の在り方を、法人内研修や運営会議の中で常に確認している。職員は、言葉遣いや対応に注意し、利用者が毎日を安心して過ごすことが出来るよう、支援に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月一回の運営会議にて内部研修を行い、外部の研修にも参加できる機会を設け、その内容を会議で発表し他の職員と共有するようにしています。		
16		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修時に同業者と交流し、意見交換等をしてサービス向上に努めています。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
17		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係を築く為、積極的にコミュニケーションをとり、安心して笑顔になっていただく為、傾聴しています。統一したケアが出来るように、フロア会議にて情報の共有を図っています。		
18		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会の際にご家族様に入居者様の現状報告し、ご家族様ともコミュニケーションを図り不安なことや要望等を伺っています。ご本人の前では話しにくいことは、席を変える等の工夫をしています。		
19		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入前には、ご家族様へ入居者様の情報を尋ね、アセスメント等で得た情報をもとに、ケアプランを作成し、支援しています。		
20		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の出来ることを探し、見守り、出来ないことは、お手伝いをして協力しながら、生活を送っていただいています。		
21		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族様へ写真付きのおたよりを発行しています。急変あれば家族へ連絡、報告、相談をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ化で面会が制限されることもありますが、電話や手紙、テレビ電話で交流していただいています。	新型コロナウイルス感染症対策のため、面会も制限され、馴染みの場所への外出も自粛している状況であるが、電話やテレビ電話で話をする機会を設けたり、手紙のやり取り等、これまでの関係が継続できるよう支援に努めている。	
23		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様方への状態に合わせてお互いが良い関係を続けられるように支援しています。他者との関わりが難しい方には職員が間に入り円滑に進むように配慮しています。		
24		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても気軽に相談していただけるようにお話しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
25	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様個々とコミュニケーションを図ることで希望と意向を把握しています。意思表示の難しい方はしぐさや表情から意思の把握に努めています。	職員が定着し馴染みの関係を築く中で、利用者の思いや意向を聞き取り、職員間で情報を共有し介護サービスに反映させている。意思を伝えることが困難な利用者については、家族に相談したり職員間で話し合い、その表情や仕草から思いを汲み取る努力をしている。	
26		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や趣味についてご家族や本人様に聞き、アセスメントシートを作成し、施設での生活を良いものに出来るようにしています。		
27		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の在宅での情報を多く収集するために、関係医療機関・ケアマネジャーやご家族と入所前には連携をとっています。得た情報は記録に残し職員間で情報を共有しています。		
28	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングとカンファレンスを毎月行っています。ご家族様の面会時にお話しし、思いや意向を聞き取りよう介護出来るように支援しています。また、かかりつけ医との密に連携を取っています。	職員は、利用者や家族の意見や要望を聞き取り、担当者会議の中で職員間で検討し、利用者本位の介護計画を3～6ヶ月毎に作成している。また、利用者の状況に変化があれば、その都度介護計画の見直しを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践は記録に残し、気づきや工夫については申し送りノートに記入し職員間で検討し日々の介護に反映しています。日勤帯と夜勤者でケアプランが実行できているかチェックし、介護計画の見通しに活かしています。		
30		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様個々のニーズの変化に柔軟に対応できるように努めています。緊急時はご家族様とも連携を図ったりと協力して頂いています。		
31		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設内から見渡せる公園があり、コロナ化でも地域の方々と会うことが出来る場所となっています。		
32	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	月2回のペースでそれぞれのかかりつけ医の往診があります。急変時には頻繁に連携を取り適切に対応していただいています。かかりつけ医とご家族様が直接お話が出来るようにもしています。	契約時に、利用者や家族の希望を聴いて主治医を選択して貰い、月2回の往診体制と緊急時の対応に加え、法人内看護師、訪問看護師、介護職員の連携で、24時間安心の医療体制が整っている。また、希望があれば、家族が直接主治医と話が出来る機会を設けている。	
33		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の看護師とはすぐに連絡が取れるようにしています。訪問看護師とは頻繁に連携をとり、何でも相談できる関係を築いています。		
34		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	コロナ化で直接会うことはなかなか難しいのですが、電話やFAX等で情報交換を行い、早期に退院出来るように努めています。		
35	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期についての希望を伺っています。	入居時に、重度化や終末期に向けた方針について説明し、利用者や家族の希望を聴いている。利用者の重度化に応じて家族と密に話し合い、主治医と連携しながら、希望があればホームでの看取りの支援に取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時についてはマニュアルを作成し、目のつくところに置いています。また、研修に関しては外部研修にてコロナウイルス発生後の対応の変更項目を確認し、内部研修にて全職員に伝達勉強会も行っています。		
37	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行い、避難方法等を身につけるようにしています。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を行い、消防車が到着するまでの間に利用者全員を2階の一時避難場所に避難誘導する体制を整えている。地域の防災訓練に参加し、防災協力事業所として登録している。また、災害時に備えて、非常食、飲料水を備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
38	17	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を尊敬尊重し、丁寧な対応を心掛け、プライバシー保護に努めています。	利用者一人ひとりの人格を尊重する介護について、内部研修や運営会議の中で話し合い、利用者の個性や生活習慣に配慮した、その人らしい暮らしの支援に取り組んでいる。また、個人情報の取り扱いや職員の守秘義務については繰り返し説明、確認を行っている。	
39		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉で伝えることの出来ない方については、表情やしぐさから思いや希望を読み取るようにしています。		
40		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のその日のペースに合わせて齟齬していただけるように対応しています。		
41		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	暑さ寒さに対する感覚の異なったり、皮膚トラブルがあったりする為、その方に合った服装やおしゃれをしていただけるようにご家族と相談して選んでいます。		
42	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	コロナ化で外食が難しくなっています。決まった食事はありますが、季節や行事に合わせて、お食事メニューを特別にご用意しています。	栄養バランスやカロリー計算された食材が配食され、職員が調理して利用者一人ひとりに合わせた形状(ミキサー食、きざみ、普通食)で提供し、楽しい食事が出来るように支援している。外食が出来ない利用者の為にホーム内での模擬外食や芋煮会を実施する等、食事を楽しむことが出来るように取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立業者よりバランスの取れた食事が配達され、入居者様の個々の形態に合わせて提供しています。水分は摂取した量を記録に残し過不足がないようにしています。		
44		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	週一回の訪問歯科があります。また、毎食後、口腔ケアを実施し、口腔内の清潔に努めています。義歯の方は就寝前に義歯を預かり、洗浄を行っています。		
45	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	お一人お一人の排泄パターンを把握し気持ちよく過ごせるように支援しています。	職員は、利用者の排泄パターンや生活習慣を把握し、利用者が重度化してもトイレで排泄することを基本とし、声掛けや誘導を行い、失敗の少ない排泄の支援に取り組んでいる。また、利用者の希望を聴きながら、トイレ誘導を行ったり、ポータブルトイレを使用する等、オムツ使用の軽減に取り組んでいる。	
46		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせて医師の指示に従い排便コントロールを行っています。健康体操を毎日行い、身体を動かし、水分をとり、排便を促しています。		
47	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	体調や気分に合わせて入浴出来るように曜日や時間の変更を行っています。入浴拒否のある入居者様には、対応職員を替えてり、気分転換を行ってから入浴を行っています。	利用者の希望や体調に配慮し、いつでも入浴出来る体制を整え、おむね週3回を基本として支援している。足浴や清拭、併設事業所の機械浴も取り入れ、利用者が重度化しても入浴出来る環境を整えている。入浴は職員と利用者がゆっくり話をしたり、ボディチェックが出来る機会として大切に関わっている。	
48		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に合わせて日中でも臥床して休息をとっていただくようにしています。また、夜に安眠出来るように日中は身体を動かしたり、レクリエーションに参加して頂き、メリハリのある生活が出来るように努めています。		
49		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が個々に飲まれている薬を把握し、変更あった時には職員間で情報を共有しています。薬についてわからないときには薬局や医療機関に問い合わせています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗い、洗濯物たたみなど出来る方に手伝っていただいています。レクリエーションはその方に合ったものを提供出来るようにしています。		
51	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	コロナ下で外出が難しくなっています。下肢筋力が低下しないように目の前の公園に散歩に出かけています。また、ご家族様が一緒に公園に散歩に行かれたりしています。	新型コロナウイルス感染症対策のため、人混みへの外出は控えているが、天気の良い日には目の前の公園に散歩に出かけ、利用者の気分転換と下肢筋力低下防止に努めている。保育園が近くに2園あり、利用者は、公園で走り回る子ども達を眺めることを楽しみにしている。	
52		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭等は本人様は持っていませんので、必要なものはご家族様が用意して下さいます。施設の買い物の同行の外出のコロナ化の為、出来ていません。		
53		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、テレビ電話、電話を使ってご家族と交流されています。		
54	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	手作りの壁飾りは入居者様と一緒に作成し、写真も飾り、季節を感じられるようにしています。換気や消毒をこまめにし、心地よい空間になるよう努めています。	音や照明、温度、湿度、換気に配慮し、清掃が行き届いた清潔感のあるゆったりとした共用空間である。交流スペースを中心に、左右対象に2ユニットが位置しており、季節の飾り物や利用者の笑顔の写真を飾り、それぞれが家庭的で居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアが広いので、その日の入所者様の状態によって好きな場所で過ごして頂くことが出来ます。		
56	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の状態に合わせて居室内の環境を整えています。日中はほとんどの方が居室に帰ることなくフロアで過ごされています。	入居前に、利用者や家族と話し合い、利用者が長年使い慣れた家具や身の回りの物、仏壇や家族の写真等大切な物を持ち込んでもらい、本人が安心して過ごせるよう配慮している。また、本人の状態に合わせて危険のないように家具を配置する等、安全面にも注意して支援している。	
57		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレに場所が分かるように、赤い花を目印にしています。本人の部屋がわかりやすいように目印をつけたりしています。		